

平成29年度中国・四国農業高等学校長教育研究協議会 祝辞

平成29年8月17日（木）
にぎたつ会館

平成29年度中国・四国農業高等学校長教育研究協議会が開催されるに当たり、一言お祝いを申し上げます。

本日は、文部科学省の 田畑 淳一 教科調査官の御出席をいただきまして、本協議会が愛媛県で開催されますことを、大変ありがたく存じますとともに、遠路はるばる御来県いただきました皆様方を心から歓迎申し上げます。

また、本協議会がこれまで、農業教育に関する学校運営等の諸問題の研究を通して、各県の農業教育の充実・振興に大きく貢献してこられましたことに、心から敬意を表する次第であります。

さて、御案内のとおり、我が国の農業は、安全・安心な食料の安定的な供給を担うとともに、環境保全を含め、多面的な機能を有する重要な産業であり、今後、農業や農業関連産業を通して、地域や社会の健全で持続的な発展を担う、活力ある人材の育成が強く求められています。

本県におきましても、平成28年3月に「えひめ農業振興基本方針2016」を策定し、農業に「かかわる」、農業で「つながる」、農業を「つたえる」の三つを基本方向とするとともに、「農業の成長産業化」と「農村の活性化」を両輪として、県産品のブランド化を推進するほか、地域で頑張っている生産者を広く紹介するデータベース「えひめ愛顔の農林水産人」を作成するなど、積極的にチャレンジする農政を展開しているところです。

このような中、本県の農業高校は、全国農業高等学校長協会の「グローバル・アグリハイスクール宣言」を踏まえ、世界規模で考え、足元から行動する学校を目指しております。複数の学校で、国際水準GAPの認証取得に向けた計画に着手するほか、産学官連携による特産品の6次産業化に挑戦するなど、それぞれの実情に応じた活動を推進し、地域に貢献する農業教育に取り組んでいるところであります。

本協議会では、本日から2日間にわたり、新しい時代に向けた農業教育が当面する諸問題について、研究協議が行われると伺っておりますが、誠に意義深いことであり、その成果に大いに御期待申し上げます。

なお、御来県の皆様方には、せっかくのこの機会に、愛媛の食材を生かした料理や道後温泉、俳句をはじめとした文学などをお楽しみいただければ幸いです。終わりになりましたが、本研究協議会の御盛会と、皆様方の御健勝と御活躍を心から祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。